

# 県民のあゆみ

2026  
**3**  
令和8年3月号

山形県広報誌  
令和8年3月号

県民のあゆみ

No.650

奇数月1日発行 編集発行◎山形県広報広聴推進課  
〒990-8570 山形市松波二丁目8番1号 ☎023-630-2534

表紙題字 | 山形県知事 吉村美栄子  
県ホームページアドレス <https://www.pref.yamagata.jp/>



インターネット通信  
この印刷版は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。

## 特集1 県内企業の持続的な発展に向けたGXの推進 P.02

## 特集2 3.11は「県民防災デー」 P.04

## 特集3 山形の新しいお米「ゆきまんてん」誕生 P.05

## 奏であう人 P.08 / 潜入レポート! P.16

製造現場でGX製品の開発に取り組む社員の皆さん。県工業技術センターと共同で、環境への負荷が低く、CO<sub>2</sub>排出量の削減にもつながる完全無機塗装金属パネルの開発を進め、製品化に向けて取り組んでいます。(撮影協力:株式会社山形メタル)

表紙  
今月の  
紙の  
の



どうなってるの!?

じんまちちゆうとんち ぜんべん  
神町駐屯地 前編

りくじょうじ えいたい  
陸上自衛隊の神町駐屯地ってどんな施設なの?

ひとつのまちのようにつくられた、  
皆さんの安心な暮らしを守る施設です。

東根市にある陸上自衛隊神町駐屯地は、東京ディズニーランドの3倍を超えるとても広い敷地を持ち、全国に160以上ある陸上自衛隊の駐屯地・分屯地の中でも6番目の広さです。この駐屯地には、国民の命や財産を守り、地震や大雨といった災害などにも対応するため、さまざまな訓練を行うグラウンドや体育館、プール、特別な車両や道具を点検・整備する工場、燃料や食料を安全に保管する倉庫などが整備されています。約2,000人の自衛隊員が緊急時にすぐ活動できるよう、敷地内には寮や食堂、売店や理髪店などの生活に必要な施設も完備されています。これらの理由から、敷地全体がひとつの小さなまちのようになっているのです。



敷地内の桜は一般開放  
ライトアップも行われます



4月の記念行事では、訓練風景など身近で見ることができます

### ヒミツポイント



戦車も動かせる? 特別な教習所

特殊車両の免許取得を目的とした教習所。大型トラックやホイールローダー、戦車などの運転に必要な教習を受けることができます。



栄養たっぷりの献立で、健康をサポート

約800人を収容できる広い食堂。量やカロリーは栄養士が管理し、おいしく、かつ体にも良い献立が朝昼晩3食提供されています。



自衛隊の歴史がわかる防衛館

駐屯地の歴史や、旧陸軍時代からの写真や資料を集めた資料館です。約2,000点の展示があり、国際平和協力や災害派遣についても学ぶことができます。



売店や理髪店が並ぶ厚生センター

厚生センターは隊員の生活を支える複合施設です。売店では、自衛隊ならではのオリジナルグッズなどもあり、お土産も買えます。



屋内25メートルプールも完備!

体力向上のためのトレーニングや、戦闘服を着たまま泳ぐ「着装訓練」などで使われます。



隊員の意見を投票で反映!

独身の隊員が利用する寮は、投票の結果を踏まえ、快適に過ごせるようにプライバシーに配慮した部屋になっています。



だい しだんぶく ちゆうけん  
第6師団副師団長兼神町駐屯地司令

きじま こうじ りくじょうほ  
貴島 康二 陸将補

神町駐屯地にはそれぞれ専門の任務を行う17の部隊があり、皆さんの生命と財産を守るため、日々訓練などを行っています。4月に行われる記念行事では自衛隊の装備品見学や活動など知る良い機会ですのでぜひ足を運んでみてください。

